

いま、野生とひとつになる！

遙かなるアフリカ——風が愛をはこんで来た！



A TALE OF AFRICA

アフリカ物語

ジェームズ・スチュアート／フィリップ・セイヤー／キャティ／エレオノラ・バローネ／ハクタ・シンバ

製作総指揮 辻 信太郎／製作 荻洲 照之／プロデューサー 松江 陽一／監督 羽仁 進／共同監督・撮影監督サイモン・トレバー／原案 寺山 修司／音楽監督 栗山 章

サントラ盤ボリドール／コンコード＝サンリオ・レーベル／原作& KATHY'S JUMBO AFRICA (キャティ写真集) サンリオ出版刊／カラー作品



サンリオ・フィルム作品

この夏——テーマは
「野生とひとつになる」

遙かなる高峰キリマンジャロ。麓に広がる無限の大サバンナ。魂のユートピア、アフリカの大自然の中で、いま愛と、生と、死のドラマが動きだした。
創立20周年を迎えた「キタキツネ物語」のサンリオオト、「アワナ・トシの歌」、TV「動物家族」の名匠羽仁進が、自然を愛するすべての人びとに贈る野生の賛歌。地上最後の楽園アフリカ大陸を舞台に、自然・動物・ヒトが混然一体に織りなす、これは——みずみずしいのちの詩。80年夏——アフリカはアフリカ。あなたは確実に野生とひとつになる！

感動のドラマを呼ぶ 大自然の息吹き

澄んだ湖のほとり。群れるフラミンゴの輪の中を、少女（キャティ）が一人行く。王者ライオン、シマウマ、サイ、野牛……草原のさまざまなキャラクターたちをその微笑でたちまち友達にしてしまう不思議な少女。彼女は「森の家」に棲む謎の老人（ジェームズ・スチュアート）の孫娘だ。老人と少女は森とサバンナを守るべく動物たちと暮らしていた。ある日、砂漠に墜落した飛行機から、辛くも脱出した男（フィリップ・セイヤー）が、「森の家」へやってきた。胸ときめかせる少女。が、老人は若者が入ってくることをかたくなに拒否した——！

驚異の現地ロケがとらえた 本物のアフリカ

撮影は78年夏から、ケニアを中心とする東アフリカに長期ロケを敢行。エチオピア砂漠、ゴロンゴロ火山口原、秘境ツアボ、ビクトリア湖など、ワイド・スクリーン一杯に広がる雄大なショット。少女と動物たち（サイ、コロバス・モンキー、レッドテイル・モンキー、サーバル・キャット）との驚異の交流。さらにクライマックスの野火と大洪水のスペクタクル・シーンなど、これまでに見えない見事な映像が連続する。撮影監督は「巨象の大陸」(69)の名手サイモン・トレバー。記録映画に多い16mm撮影を拒否し、終始35mmで押通したトレバー／羽仁の詩情豊かなキメラアイは、この作品最高の話題だ。



SANRIO サンリオ創立20周年記念作品



A TALE OF AFRICA

アフリカ物語

♡ サンリオ・フィルム作品

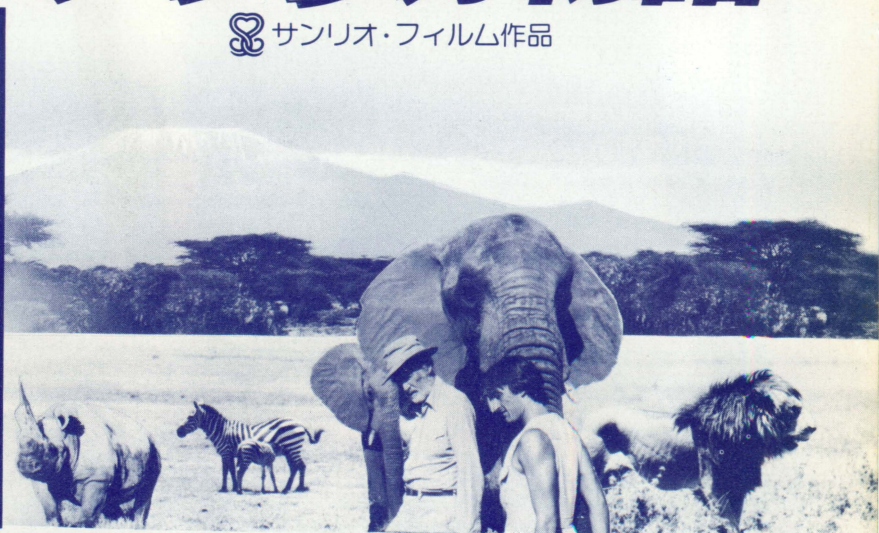
サバンナの天使 キャティの魅惑

野生とたわむれる「少女」をナイーブな感性で演じたキャティは、ご存知ヤングに大人気のモデル&CFギャル。2000人からのオーディションに見事勝ち抜いてこれが映画初出演。16才とは思えぬプロポーション(161・86・59・88)。まぶしく健康的な美少女ぶり。それが壮大なアフリカの大自然にこよなくマッチして一種爽快なエロシズムを発散している。泥んこの中でサイの子とたわむれる自然なしぐさなど大器の片りん十分。単なるピンナップ・ギャルで終りそうもない魅力が「アフリカ物語」のキャティにはふんだんだ。

サンリオ創立20周年に 世界の才能が結集した！

「動物って凄いいんだ！ その動物と人間と野生のからみはもつと凄い。アフリカというワイドな世界が舞台だから、このテーマをワイドにとらえたい。」
(製作総指揮／サンリオ社長・辻信太郎)
「アフリカを通して、大自然のもっている美しさを表現したい。」
(監督・羽仁進)

サンリオと羽仁監督のこの製作意図は、世界の映画人の共感を呼んだ。羽仁監督の熱意にほだされて、初の日本映画に主演するハリウッドのビッグ・スター、ジェームズ・スチュアート(エアポート'77)、撮影のサイモン・トレバー、英シエイクスピア劇団の若手ホープ、フィリップ・セイヤー、伊名優ラフ・パローネの愛娘エレオノラ、黒沢明監督のアカデミー賞受賞作品(デルス・ウサラー)の製作者松江陽……etc世界が注目するインターナショナルな顔合わせは、日本映画に久々ビッグな成果をもたらした。



今夏、世紀のロードショー

新宿文化シネマ1

(354)2097

*特別鑑賞券好評発売中！

一般1100円(1400円の処)